

町議補選

日本共産党 松元たけしさん健闘

スジ通してがんばる日本共産党に期待

北川 豊昭	現	2269
野瀬喜久男	新	2196

後援会員から健闘をたたえられ花束を受け取る松元さん



町長選挙は現職が再選

官製談合疑惑が晴れていない元町総務主監・野瀬喜久男氏との一騎打ちとなった町長選挙は、73票差で北川豊昭現町長が再選されました。

松元たけし	68	共	1623	38%
山田 裕康	52	無	2258	53%
大町善士雄	61	無	385	9%

「盗水・談合など不正許さない」の訴えが町民の共感よぶ

22日告示、27日投票の町長選挙と同時に行われた町会議員補欠選挙（定数1）の日本共産党・松元たけしさん（68才）は1623票を獲得しましたが、力および、山田裕康氏が当選しました。投票率は73・78%、無効投票（白票、他事記載、候補者不明など）数は266票（5・87%）でした。今回の補欠選挙は、盗水が発覚したにもかかわらず居座り続ける議員に対して、2801筆の解職請求の署名運動を成功させ、とうとう自ら辞職せざるをえない状況を町民のみならずや日本共産党甲良支部などの共同がつくりだしてきたことによるものです。

急ぎの立候補などさまざまなハンディをかかえながら、得票率38%まで町民の支持を得たことは、訴えの内容が町民の共感を呼び、7月の参院選での日本共産党比例票332票の約5倍もの得票となっていることに表れているといえます。

「今後も運動強め、住んでよかったといえる町政めざし頑張ります。」…松元たけしさん

結果が確定し、事務所に集まった支持者を前に、松元たけしさんは今後の決意を語りました。「選挙まで大変短い期間の中、出馬の要請を受け、立候補を決意し、候補者として精いっぱいいたたかいました。政策を街頭から訴える多くの町民のみなさんから激励を受け、町政の大掃除に期待がかけられていることを強く感じる選挙戦でした。これからも議員バツジがなくても、選挙で約束した『住んでよかったといえる町政』めざし引き続きがんばります」

公正選挙をおびやかす威圧に抗議

選挙は有権者のまつたく自由な意思が発揮される環境のもとで実施されなければなりません。ところが、ある投票所の前に多くの運動員が並び威圧する光景に、投票におとずれた有権者から「こわかった」と連絡をいただきました。現地を確認し、選挙管理委員会に対し「公正な選挙を執行するに当たり、